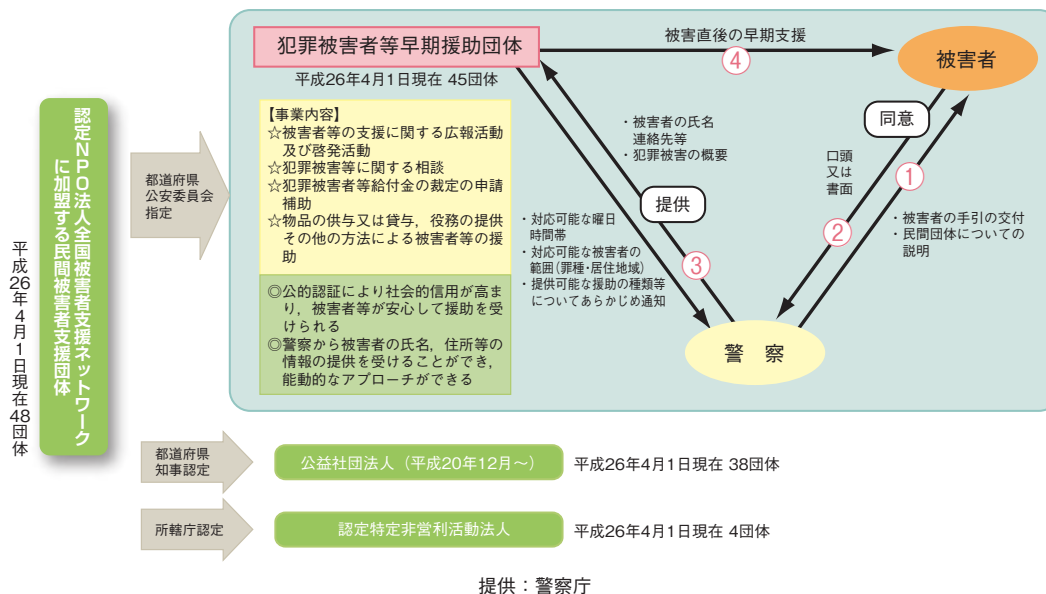


犯罪被害者等早期援助団体制度

犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律第23条に基づき、犯罪被害等を早期に軽減するとともに、犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう支援するための事業を適正かつ確実に行うことができると認められる非営利法人を、当該法人の申出により、都道府県公安委員会が指定する制度



○ 日本司法支援センター(通称:法テラス)

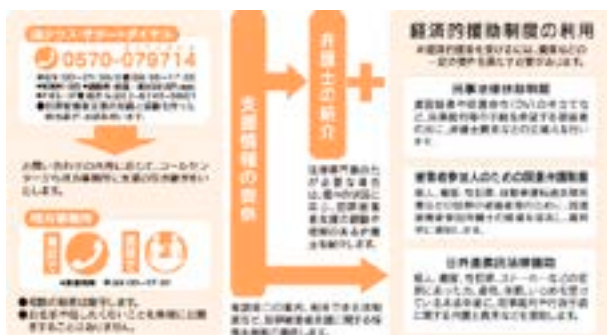
刑事手続への適切な関与や損害・苦痛の回復・軽減を図るための法制度に関する情報の提供、犯罪被害者支援を行っている機関・団体の案内、犯罪被害者支援の経験や理解のある弁護士の紹介、被害者参加人のための国選弁護制度に関する業務を行っている。

- ・ 地方事務所(全国各都道府県50か所)
(<http://www.houterasu.or.jp/chihoujimusho/>)

○ 法務局・地方法務局

法務省の人権擁護機関では、法務局・地方法務局又はその支局や特設の人権相談所において、犯罪被害者等からの相談を含む人権に関する相談に応じている。また、最寄りの法務局・地方法務局につながる全国共通人権相談ダイヤル「みんなの人権110番」を設置し、電話による相談に応じている。さらに、インターネットでの相談は、「インターネット人権相談受付窓口」で応じている。被害者、その法定代理人、配偶者等からの申告等に基づき、人権侵害の疑いのある事案を認知した場合は、人権侵害事件として調査を開始し、事案に応じた適切な措置を講じている。

犯罪被害者支援業務



- ・ 法テラス・サポートダイヤル(コールセンター)
一般ダイヤル
(0570-078374「おなやみなし」)
犯罪被害者支援ダイヤル
(0570-079714「なくことないよ」)

- ・ みんなの人権110番 (0570-003-110)
(<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken20.html>)
- ・ インターネット人権相談受付窓口
(24時間受付)
(<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>)

コラム②

平成25年度都道府県・政令指定都市犯罪被害者等
施策主管課室長会議 講演録（抜粋）公益社団法人被害者支援センターとちぎ事務局長
和氣みち子氏

私は、先ほど御紹介がありましたように、今から13年前、最愛の娘を飲酒・居眠り運転をする10トントラックで命を奪われた犯罪被害者です。本日は、私の体験・経験と、現在私は犯罪被害者支援を微力ながら行っておりますので、支援活動内容の御紹介や関係機関の連携の重要性等を中心にお話をさせていただきます。

私の娘は、今から13年前の平成12年7月31日（当時19歳8カ月）まで、青春真っただ中を、夢や希望をたくさん持って生きていました。ある日突然命を奪われ「夢」「希望」も奪われてしまいました。

犯罪被害者となって、「日本の国は犯罪被害者にとって、とっても冷たい国だった、こんなに住みにくい国だったのだろうか。」と、かなりショックを受けたのです。なぜかと言いますと、栃木県には相談する窓口や支援をしてもらえる窓口もありませんでしたので、何をどうしなければいけないのか全く分からずパニック状態でした。

私は、娘を亡くしてから何が困ったかと言いますと、金銭問題です。遺体の処置費用の請求書、お通夜、お葬式等、こういう多額の費用をどうしようかという問題が出てきます。「栃木県民共済」という交通事故保険に入っていましたので、それを請求しようということで、一度市役所の方に伺ったのですが、とにかく混乱していますので、うまく説明ができなかったために、窓口をたらい回しに遭ったのです。

私の場合は、私の知り合いで助役をやられていた方がおりました、その方から市役所に電話を掛けていただき、詳しい説明をその方からしていただいたのです。そのおかげでスムーズに手続が完了し、非常に助かりました。

そのほかに様々な事件事故の被害者がいらっしゃいます。立場が違くと、使える制度もそれぞれ違うのです。私の経験からも、市役所の窓口が、いかにハードルが高い所かということが分かっていただけなのかと思います。

当時、栃木県には被害者支援センターがありませんでしたし、どこの窓口を頼って良いのか分からない、アドバイスや情報提供もない状況でしたから手探りで前に進むしかなかったです。

次に御紹介します取組ですが、ある被害者の方にこのワンペーパーをお渡ししたものです（次ページ参照）。最近では犯罪被害者支援が少し充実してきましたので、パンフレット、リーフレットの資料等を関係機関が準備をされて犯罪被害者の方々に渡していただきますが、残念ながらパンフレットをもらった犯罪被害者が自分に必要な部分を探すだけでも大変な作業になります。心身がボロボロで心が折れている中で、そういう作業は軽減していただきたいのです。そこでこのようなワンペーパーが出来たのです。

警察では、給付金制度の申請ができますよ、診断書の公費の支給がありますよ、マスコミ対応ができますと示されました。税務署の方は、所得税の確定申告や医療費控除ができます。被害者支援センターでは、直接的支援、無料弁護士相談、無料カウンセリングが受けられますと示しました。皆さんに見ていただきたい機関は宇都宮市役所です。この犯罪被害者の場合使える制度です。

これだけ多くの使える制度があるにもかかわらず、私たち当センターでは全くと言って良い



ほど分かりませんでした。このように使える制度があることは、被害者には全く分からないのです。また、犯罪被害者が使える制度を調べるということは大変な作業ですし、これだけ明確にはなりません。ほとんどの犯罪被害者の方は、使わずに諦めているか、制度があることさえ分からない状態だと思います。

それから、これを渡しただけでは、被害者はどこの窓口に行っても良いのか分からないのです。私のようにたらい回しに遭ってとても大変な思いをしてしまう方もいると思います。そこで、担当窓口の方が必要な窓口と一緒に付いて行ったり、つらい話を代弁していただければ犯罪被害者の負担はかなり軽減します。

これを被害者の方にお渡ししたところ、すぐに宇都宮の市役所に行って話を聞きたいという連絡が入りました。このときには、被害者支援センターとちぎから宇都宮市の担当である生活安心課の担当にお電話を掛けました。「今から犯罪被害者の方が窓口に行きますので、対応をよろしくお願います、受け入れてください。」ということで連絡をしたところ、担当者が丁寧に対応してくださって、支援をしてくださいました。犯罪被害者の方からは、非常に助かりました、有難うございました、というお礼の言葉をいただきました。このようなことが行政でできる犯罪被害者支援になるのではないのでしょうか。なかなか急には難しいと思いますが、徐々にでも一歩踏み込んだ支援の協力を期待したいと思います。

犯罪被害者はその地域で生きていくわけですから、是非その辺を御協力いただければ幸いです。

関係機関被害者支援事項

【宇都宮市】(少年被害者・重傷の被害事件)

担当窓口	内 容	担当先(連絡先)
警察	○犯罪被害給付金制度 ○診断書等の公費支給 ○ヤスクI対応	○犯罪被害者対策室 △△警察 △△警察 421-0119 内線×××× ○宇都宮△△警察署 △△警察 △△警察 423-×××× (白濁××××)
福祉課	○経済的支援に関する相談窓口 ○栃木県精神福祉センター「g100」 ○栃木県障害福祉センター「g100」	○△△生活支援課 △△警察 423-××××
宇都宮市役所	○生活福祉、子育ての支援 ○心身障害、児童福祉等 ○障がい児童福祉等 ○特別児童扶養手当 ●心身障害、児童養育給付制度 ○自立生活医療(育成医療) ○育成医療に関する市の独自制度 ○障がい・福祉サービス・地域生活支援事業及びケア事業の片側無料上限額 ○障がい児施設・サービス ○障がい児の受け入れ・管理 ○産後心身障害、児童への日常生活用具の貸付・貸与 ○産後心身障害、子ども一科全額給 ●障がいの相談・援助 ○鉄道・バス運賃割引制度 ○航空運賃優待割引制度 ○有料高齢者割引料金の割引 ○タクシー割引制度 ○NHK放送受信料の減免制度 ○市の施設料免除の減免 ○私立施設の無料利用	○市民生活課 生活安心課 △△支書 423-××××
宇都宮保健課	○障害者の認定申請 ○医療費控除	○宇都宮保健課 △△保健課 423-××××
被害者支援センター	○遺族支援(警察に立つ相談支援等) ○無料申請と相談(電子的) ○無料カウンセリング(電子的)	○被害者支援センター 一とちぎ 相談専用電話 423-××××
宇都宮市教育委員会 児童課 学芸課	○各種相談 ○教育手帳の交付	○宇都宮市教育委員会 学芸課 △△支書 423-×××× ○栃木県立中央児童福祉館 相談 △△ 423-××××

○一時的な緊急な事項
○ご希望により支援
●申請に時間がかかるため早めに申請

(2) 児童・子どもの被害

○ 子どもに関するあらゆる相談

児童相談所では、被害によって心のケアなどを必要とする少年の相談や問合せにも応じている。相談や問合せは、夜間・休日を問わず対応している。

また、棄児、迷子、家出した子ども等、緊急にその子どもを保護する必要がある場合、虐待、放任等の理由によりその子どもを家庭から一時引き離す必要がある場合などに、一時保護している。

- ・全国共通ダイヤル (0570-064-000)
(管轄する児童相談所に自動で電話がつかがる)
- ・児童相談所一覧 (http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv-jinshin/index.html#hid0_mid2)

○ 犯罪被害に遭った少年に関する相談

都道府県警察で応じている。

「ヤングテレホンコーナー」などの名称で電話による少年相談窓口を全都道府県警察に設置しており、フリーダイヤルや電子